## 特許協力条約

### 発信人 日本国特許庁(国際調査機関)

代理人

二瓶 正敬

REC'D 2 8 APR 2005 WIPO PCT

PCT 国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]

あて名

〒160-0022

日本国東京都新宿区新宿2-8-8 とみん新宿ビ ル2 F

> 発送日 (日.月.年)

26. 4. 2005

出願人又は代理人

の書類記号

P62-0488

今後の手続きについては、下記2を参照すること。

国際出願番号

PCT/JP2005/005106

国際出願日

(日.月.年) 22.03.2005

優先日

(日,月.年) 25.03.2004

国際特許分類(IPC)Int.Cl. H04L12/56, H04Q7/36, 7/38

出願人(氏名又は名称)

松下電器産業株式会社

- 1. この見解書は次の内容を含む。
  - ▼ 第 Ⅰ 欄 見解の基礎
  - 第11欄 優先権
  - 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
  - 第IV欄 発明の単一性の欠如
  - 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、
    - それを裏付けるための文献及び説明
  - 第VI欄 ある種の引用文献
  - 第VI概 国際出願の不備
  - 第VII欄 国際出願に対する意見
- 2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 際予備審査機関がPCT規 66.1 の 2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解書を作成した日

08.04.2005

名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

|郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員)

3250 5 X

清水 稔

電話番号 03-3581-1101 内線 3596

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

	P) C MAI TET AN		Emmara 1 0 17 J 1 2 0 0 0 7
第1概 見解の基礎			
「この見解帯は、		場合を除くほか、国際出願の言語を表 語による翻訳文を基礎。 に提出されたPCT規則12.3及び23.	として作成した。
2. この国際出願で開 以下に基づき見解			ヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、
a. タイプ		配列表	•
	Γ	配列表に関連するテーブル	•
b. フォーマット		- 書面	
	Γ	コンピュータ読み取り可能な形式	· · ·
c. 提出時期	Picodo	出願時の国際出願に含まれる	•
	_	この国際出願と共にコンピュータ読	党み取り可能な形式により提出された
	Γ	出願後に、調査のために、この国際	※調査機関に提出された
3. ごさらに、配列 た配列が出願 あった。	表又は配時に提出	3列表に関連するテーブルを提出した 出した配列と同一である旨、又は、出	場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し 願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が
		•	
			•
• ,			,
. ,			
		•	

### 国際調査機関の見解費

国際出願番号 PCT/JP2005/005106

1. 見解			
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-33	有 無
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-33	有 無
産業上の利用可能性(IA) ·	請求の範囲	1-33	有 無

文献1: "Securing Nested Tunnels Optimization with Access Router Option",

INTERNET-DRAFT, draft-ng-nemo-access-router-option-00.txt,

2002.10.28

文献2: "ネットワークの移動性を実現するモバイルルータとそのための経路制御

式の提案", 信学技報 I N 2 0 0 2 - 1 0,

2002.05.21

請求の範囲1-33に係る発明は、モバイルアクセスルータとモバイルノードとの間にローカル固定ルータが配置されている場合においても、モバイルノードがモバイルアクセスルータのグローバルアドレスを知ることができるようにしたものであるが、この点は、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

# 特許協力条約

### 発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

代理人

二瓶 正敬

REC'D 2 8 APR 2005 WIPO PCT

あて名

〒160-0022

日本国東京都新宿区新宿2-8-8 とみん新宿ビ ル2 F

PCT 国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]

発送日 (日.月.年) 26. 4. 2005

出願人又は代理人

の書類記号 P62-0488 今後の手続きについては、下記2を参照すること。

国際出願番号

PCT/JP2005/005106 (日.月.年) 22.03.2005

優先日

(日.月.年) 25.03.2004

国際特許分類 (IPC) Int.Cl. H04L12/56, H04Q7/36, 7/38

出願人(氏名又は名称)

松下電器産業株式会社

1. この見解費は次の内容を含む。

第1欄 見解の基礎

第Ⅱ欄 優先権

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

第IV欄 発明の単一性の欠如

第V欄 PCT規則 43 の 2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、

それを裏付けるための文献及び説明

国際出願日

第VI欄 ある種の引用文献

第VI概 国際出願の不備

第四欄 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 際予備審査機関がPCT規 66.1 の 2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解者とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解害を作成した日

08.04.2005

名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員)

清水 稔

電話番号 03-3581-1101 内線 3596

5 X

3250

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

·					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<del></del>		
第1概 見解の基礎	<del>,</del>							
1. この見解書は、下	記に示す	よ場合を除くほれ	か、国際出	顔の言語を基礎	遊として作成さ	れた。		
一 この見解密は、			吾による翻訳	沢文を基礎と「	して作成した。			•
		に提出されたF				の言語であ	る。	
2. この国際出願で開 以下に基づき見解		_	に係る発明(	に不可欠なヌ	クレオチド又は	アミノ酸配	列に関して、	
a. タイプ	_	配列表						
		name many andre s Biff body		•	•			
	1	配列表に関連	まるテーフ	<i>'\\</i>				
b. フォーマット		書面						
	-	コンピュータ	読み取り可	「能な形式				•
c. 提出時期		出願時の国際	出願に含ま	れる				
	Γ	この国際出願	iと共にコン	ノピュータ読み	取り可能な形式	たにより提出	Hされた	
	Γ	出願後に、調	査のために	<b>エ、この国際</b> 調	<b>香機関に提出</b> る	された		
							·	
3. 「さらに、配列								
	時に提出	出した配列と同·	ーである旨	、又は、出願	時の開示を超え	る事項を含	含まない旨の例	反述書の提出が
あった。				•		•		
							•	
4. 補足意見:	•					•		
•			•					
,			<b>&gt;</b>		•			
•	•							
	•						•	
	_	•						
								·
·				٠.				
							:	
			•		·			
	•			•				
							•	
							•	
·								

国際調査機	関の	見解排
		7 W/3 T 24

国際出願番号 PCT/JP2005/005106

見解			
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-33	
進歩性(IS)	請求の範囲	1-33	
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-33	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

#### 2. 文献及び説明

文献1: "Securing Nested Tunnels Optimization with Access Router Option",

INTERNET-DRAFT, draft-ng-nemo-access-router-option-00.txt,

2002. 10. 28

文献2: "ネットワークの移動性を実現するモバイルルータとそのための経路制御

式の提案",信学技報IN2002-10,

2002.05.21

請求の範囲1-33に係る発明は、モバイルアクセスルータとモバイルノードとの間にローカル固定ルータが配置されている場合においても、モバイルノードがモバイルアクセスルータのグローバルアドレスを知ることができるようにしたものであるが、この点は、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。